

四万十発の新技术

～「木の香る道づくり事業」～



●植栽後、半年が経過した状態

(窪川町一斗俵地区 H7.8 撮影)

Q. 四万十川沿いをドライブしていると、山を切り崩した後に木の苗を植えてあるのを見かけました。あれは何という工事ですか。

《しまんと君》

ほとんどの人が川を見ながら走るのので、気がつかない人もいますよ。これが四万十発の新技术『木の香る道づくり事業』です。

Q. 川側を埋めて広げれば安くて早いのに、なぜこんな工事をするんですか。

《しまんと君》

平成4年頃までは、自然の川岸をコンクリート壁でおおう道路改良を進めた結果、自然豊かな四万十川が、都市のような感動のない川になろうとしていました。また、川は蛇行を繰り返しながら水をきれいにしたり、生物のすみかになっていますが、これも失われつつありました。

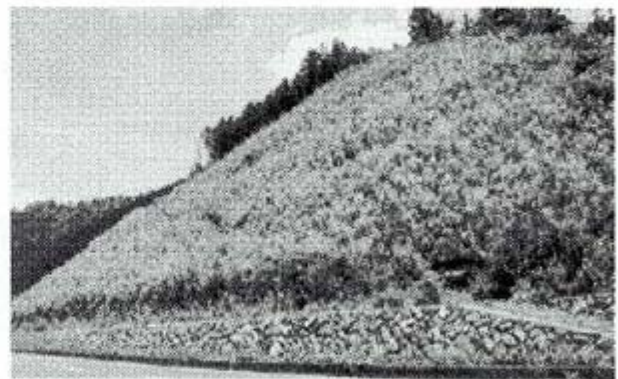
平成5年頃から四万十川の自然川岸を守るため、道路を山側へ広げるようにしましたが、削った擁壁を従来のコンクリート吹き付け工法を行うと自然景観が台無しとなるため、この技術が新たに考案されたのです。

Q. 四万十川での実績により、補助事業に認められたそうですね。

《しまんと君》

この技術は高知県(土木部)職員のアイデアで、平成5年から高知県単独で取り組んだ実績を元に国に提案し、平成7年から認められました。

単なる自然景観の保全(緑化)ではなく、間伐材やポット苗を使うことによって中山間地域の収入増となるところに大きな意義があります。



●順調に自然林へと復元しています。(H10.4 撮影)

Q. 最近は森林組合の方が土木事務所を訪れるとも聞きますが…。

《しまんと君》

高知県は全国一の森林県です。これからの土木は、いわゆる「土」と「木」の本来の土木に還ることが重要ではないでしょうか。

四万十発の新しい技術が、全国へ広がることは本当にうれしいことです。

Topics

◎第8回四万十あつたがサイクリング

7/24～7/26 (応募締切6/22)

源流の東津野村から最下流の中村市まで、自転車で走破します。

お問い合わせは、東津野村教育委員会 電話(0889)-62-2258 FAX(0889)-62-3519

次章(7月10日発信)は、「四万十川ルール」についてご紹介します。